

年報

昭和63年度

1989



大磯町郷土資料館

昭和63年度 資料館年報 内容一覧

はしがき	1
I 建設	
建設経過	3
経費	4
工事関係者一覧	4
施設概説	5
平面図	6
展示概説	8
II 管理	
組織 (職員・表)	9
運営委員会	9
来館者概要 (グラフ)	10
職員派遣一覧	11
資料館外貸出一覧	11
研修室利用一覧 (表)	12
視察・見学一覧	12
登録	13
備品一覧 (表)	14
各部屋の温湿度変化 (表)	15
委託関係一覧	15
条例・規則	16
III 学芸・教育普及活動	
資料収集活動 (寄贈、寄託一覧・表)	23
文献資料収集状況	26
行事一覧 (表)	27
刊行物一覧	27
特別展・企画展一覧 (表)	28
執筆活動	28

■ はしがき

館 長 鈴 木 昇

大磯町郷土資料館を訪れる人達は一様に“素晴らしい”、と叫ぶ。日本一の大富豪であった人が城山荘を建て、国宝の如庵や重文の書院を移して生活を楽しんだところだから、環境の美しいのは当然で、そこが県立城山公園となり、そのなかに昭和63年10月25日から大磯町郷土資料館が開館して、かつて城山荘の自然を満喫した大富豪にかわって、大磯町の人、神奈川県の人、日本全国の人、そして最近では外国の人達までがこのたたずまいを楽しんでいるのだから素的である。

資料館の利用者はさまざまで、七五三のお宮詣りの時期にはこれら幸福な家族の一団で館はにぎわった。落葉が豪快に舞う季節には、健康と教養の向上を兼ねた「歩こう会」の人達で館内があふれた。これらの人達のためますます楽しくみごたえのある館にせねばなるまい。

卒論を書くための資料を求めて来館した学生には驚かされた。資料館と名がつけば、百年も前に開館した資料の充実している館と同様に考えられるのだ。歯をくいしばってでもこの要望にこたえねばなるまい。

郷土資料館が開館した初年の昭和63年度がすぎたので、資料館年報を発行することにしたが、内容は建設・管理・学芸の三つに大きくわけ、建設では建設までの経過・建設費・施設概要・展示概要をのせ、管理では職員組織図・運営委員会・来館者概要・見学視察者・研修室利用状況・資料の館外貸出・登録資料数・備品一覧表・条例規則・その他を掲げ、学芸では寄贈寄託資料・文献資料収集状況・行事一覧・特別展と企画展の一覧を記載した。広くご利用いただければ幸いである。

本館のために各方面の多数のかたがたから、絶大なご尽力をいただいた。ここに深甚なる感謝の意を表し、今後ますますのご指導とご協力をお願いする次第である。

I 建設

■建設経過

大磯町郷土資料館の建設から開館までの経過は、おおむね次のとおりである。

(仮称)郷土資料館として、昭和60年度より本格的な建設準備に着手し、昭和61年3月から正式名称を「大磯町郷土資料館」と改め、昭和63年10月の開館に至っている。

昭和56年 7 月	議会に「城山公園化促進特別委員会」が設置される。
12 月	18,000名の署名簿を添付し、議会・各種団体の代表とともに公園化の陳情を行う。
昭和58年 9 月	議会に「城山地域調査特別委員会」が設置される。
昭和59年 3 月	県より「大磯城山公園基本計画」が提示され、郷土資料館の位置づけが明確にされる。
昭和60年 7 月	(仮称)郷土資料館建設に関する資料収集と内容整理のため郷土資料館建設事務委員会が発足する。
9 月	(仮称)郷土資料館基本構想発注に先立ち、技術提案業務に着手する。
〃	基本構想業務に着手する。
〃	基本構想策定委員会が発足する。(8名委嘱)
昭和61年 3 月	基本構想が完了する。
5 月	測量調査に着手する。
6 月	大磯町郷土資料館基本設計に着手する。
〃	大磯町郷土資料館建設委員会が発足する。(11名委嘱)
7 月	測量調査が完了する。
〃	地質調査に着手する。
10 月	地質調査が完了する。
〃	大磯町郷土資料館基本設計が完了する。
11 月	大磯町郷土資料館実施設計に着手する。
昭和62年 4 月	大磯町郷土資料館実施設計が完了する。
6 月	大磯町郷土資料館本体工事・展示工事に着手する。
昭和63年 3 月	大磯町郷土資料館本体工事が完成する。
4 月	大磯町郷土資料館条例が施行される。
〃	大磯町郷土資料館外構工事に着手する。
8 月	大磯町郷土資料館展示工事が完成する。
9 月	大磯町郷土資料館外構工事が完成する。
10 月	大磯町郷土資料館開館。

■経 費

●建設経費内訳（役務費・備品購入費を除く）

単位：千円

区 分 \ 年 度	全 体	61	62	63
基 本 設 計	8,300	8,300	0	0
実 施 設 計	16,500	13,365	3,135	0
管 理	10,450	0	6,966	3,484
小 計 ①	35,250	21,665	10,101	3,484
本 体 工 事	484,000	0	484,000	0
展 示 工 事 1	110,000	0	34,850	75,150
展 示 工 事 2	35,500	0	20,629	14,871
外 構 工 事	28,000	0	0	28,000
小 計 ②	657,500	0	539,479	118,021
合 計 ①+②	692,750	21,665	549,580	121,505

●財源内訳

単位：千円

区 分 \ 年 度	全 体	61	62	63
国 庫	60,000	0	60,000	0
県 費	45,419	0	35,800	9,619
起 債	300,000	0	300,000	0
一 般 財 源	287,331	21,665	153,780	111,886
合 計	692,750	21,665	549,580	121,505

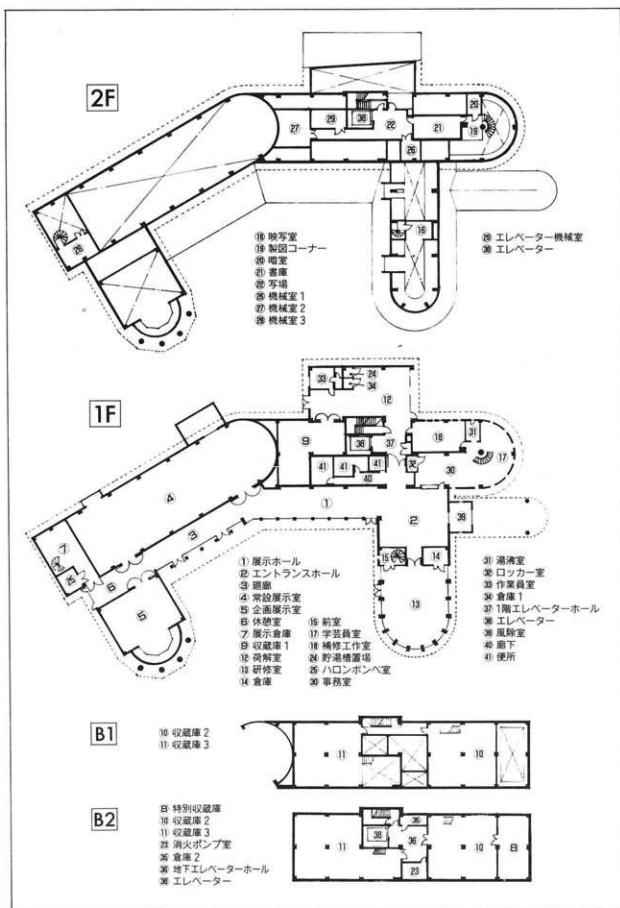
■工事関係者一覧

- ・建築設計・監理 株式会社坂倉建築研究所
- ・展示設計・監理 株式会社坂倉建築研究所
株式会社空環計画研究所
- ・建築工事 西松建設株式会社横浜支店
- ・外構工事 西松建設株式会社横浜支店
- ・展示工事 株式会社乃村工藝社
株式会社京都科学

・所在地	神奈川県中郡大磯町西小磯460番地（県立大磯城山公園内）			
・敷地面積	5,098㎡（神奈川県より借地）		公園面積 7 ha	
・建築面積	1,204.78㎡			
・延床面積	1階	1,132.61㎡	2階	163.29㎡
			地下1階	186.74㎡
	地下2階	290.65㎡	合計	1,773.29㎡
・構造	鉄筋コンクリート 地上2階 地下2階			
・建物高	地上 9.95m			
・工期	着工 昭和62年6月11日			
	完成 昭和63年9月30日（建物竣工 昭和63年3月25日）			
・開館	昭和63年10月25日			



■平面図





●各室面積表

区 分 _㎡	室 名	面積 _㎡	備考	区 分 _㎡	室 名	面積 _㎡	備考
展 示 637.26 (35.94%)	展 示 ホール	87.98	①	機械設備 76.89 (4.33%)	消 火 ポンプ室	7.70	㉔
	エントランスホール	81.18	②		貯 湯 槽 置 場	2.48	㉕
	廻廊	39.80	③		ハロンボンベ室	8.37	㉖
	常設展示室	275.54	④		機 械 室 1	15.35	㉗
	企画展示室	84.12	⑤		機 械 室 2	22.85	㉘
	休憩室	32.45	⑥		機 械 室 3	7.83	㉙
	展示倉庫	36.19	⑦		エレベーター機械室	12.31	㉚
収蔵・保管 529.78 (29.88%)	特別収蔵庫	39.87	⑧	管 理 75.16 (4.24%)	事 務 室	42.97	㉛
	収 蔵 庫 1	58.94	⑨		湯 沸 室	5.80	㉜
	収 蔵 庫 2	164.32	⑩		ロ ッ カ ー 室	3.77	㉝
	収 蔵 庫 3	188.56	⑪		作 業 員 室	13.46	㉞
	荷 解 室	78.09	⑫		倉 庫 1	6.68	㉟
教育普及 112.15 (6.32%)	研 修 室	85.21	⑬	そ の 他 209.40 (11.81%)	倉 庫 2	2.48	㊱
	倉 庫	9.03	⑭		地下エレベーターホール	20.84	㊲
	前 室	9.03	⑮		1階エレベーターホール	25.14	㊳
	映 写 室	8.88	⑯		エ レ ベ ー タ ー	26.88	㊴
調査研究 132.65 (7.48%)	学 芸 員 室	31.79	⑰		D S 1	8.70	
	補 修 工 作 室	31.03	⑱		D S 2	4.98	
	製図コーナー	8.70	⑲		階 段	62.24	
	暗 室	6.02	㉑		風 除 室	11.56	㊵
	書 庫	20.66	㉒		廊 下	19.29	㊶
	写 場	34.45	㉓		便 所	29.77	㊷

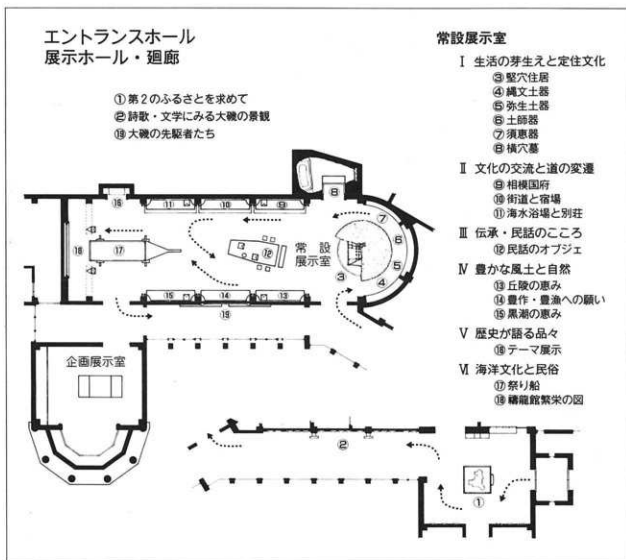
■ 展示概要

● 常設展示室

「湘南の丘陵と海」のテーマのもと、大磯と周辺地域を含む豊かな文化と自然環境にスポットをあて、古代から現代にいたる人々の生活を中心に展示を構成した。竪穴式住居の復元模型やA V装置の駆使などにより臨場感をだし、体験的な空間をつくりだすことに力を注いだ。

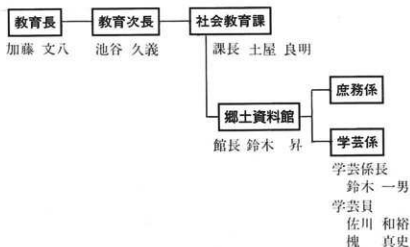
● 企画展示室

年1回の特別展示と年3回程度の企画展示実施。館のテーマである「湘南の丘陵と海」をテーマに、自由な発想のもとユニークな展示を企画してゆきたいと考えている。



Ⅱ 管理

■ 郷土資料館職員組織図



■ 大磯町郷土資料館運営委員会

● 運営委員会内容

昭和63年度は2回開催され、内容はおおむね次のとおりである。

(1) 第1回運営委員会

日 時：平成元年1月27日

- 内 容：①郷土資料館建設事業について
 ②郷土資料館事業執行状況について
 ③来館者数について
 ④資料収集状況について

(2) 第2回運営委員会

日 時：平成元年3月29日

- 内 容：①平成元年度資料館当初予算（案）について

● 委員名簿

	氏 名	住 所	備 考
委 員 長	相 田 義 春	大磯町大磯1,627	区長連絡協議会
副 委 員 長	加 藤 文 八	平塚市諏訪町32-8	学識経験者
委 員	飯 田 善 雄	大磯町大磯2,121	学校長
委 員	稲 葉 和 也	狛江市中和泉1-17-1-103	文化財専門委員
委 員	佐 藤 昇	大磯町大磯1,186-5	社会教育委員

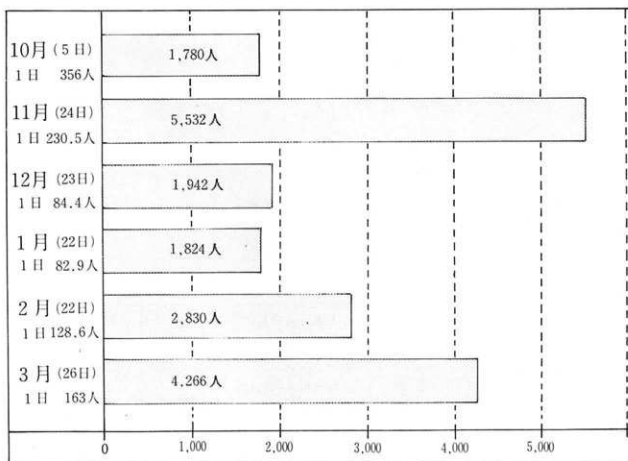
■来館者概要

昭和63年度の開館日数は122日、来館者総数は18,148人にのぼり、1日平均149人の来館者があったことになる。来館者の動向を見ると、年末・年始（12月・1月）に減少が見られたが、その他の月は1日平均150人前後の来館があり、とくに開館1ヶ月間は連日200人以上を数えた。また、曜日別では、日曜日が280人と断然多く、その他曜日はいずれも100人前後であった。

表：曜日別開館日数と曜日別来館者等

曜日	火	水	木	金	土	日
曜日別開館日数(日):a	20	20	21	21	20	20
曜日別総来館者数(人):b	2,147	2,565	3,387	2,289	2,064	5,723
曜日別平均来館者(b/a)	107	128	161	109	103	285

$$\text{昭和63年度} \quad \frac{\text{総数 } 18,148 \text{ 人}}{\text{開館 } 122 \text{ 日}} \div \frac{149 \text{ 人}}{\text{日}}$$



■ 職員派遣

当館職員が昭和63年度に行なった講演・発表・指導等をまとめた。

氏 名	年・月・日	申 請 者	内 容	場 所
鈴木 昇	S 63.11.16	摘み草の会 (昭和58年婦人学級OG会)	藤村と大磯 とのかかわり	資料館研修室
鈴木一男	S 63.6.29	大磯町教育委員会	新採用職員研修	町内施設
	H 1.3.10	神奈川県教育庁 社会教育部	生涯教育に向けての 博物館のあり方	横浜市立金沢動物園
	H 1.3.16	大磯町教育委員会	大人のための歴史教室	郷土資料館研修室
鈴木一男 佐川和裕	S 63.6.16・17	大磯町立大磯小学校	大磯史跡巡り	楊谷寺の横穴墓群など
佐川和裕	S 63.8.18	大磯町老人福祉課 大磯町教育委員会	高齢者教室	町立福祉センター
槐 真史	S 63.6.5	神奈川県自然観察 指導員連絡会	自然観察会指導	高麗山
	S 63.6.28・8.27	大和市教育委員会	大和市動植物総合調査	大和市

■ 資料の館外貸出

(昭和63年4月～平成元年3月31日)

資 料 名	点数	期 間	申 請 者	利 用 目 的	利 用 場 所
土器	1 点	S 63.3.20 ～9.20	香川県埋蔵文化財センター (廣瀬 和孝)	香川県埋蔵文化財センター 展示のため	香川県埋蔵文化財センター
土器	2 点	S 63.7.20 ～8.30	平塚市博物館 (今泉 義廣)	特別展「相模川流域の弥 生時代」に展示する	平塚市博物館
縄文式土器 弥生式土器 パネル他	23 点	S 63.5.1 ～6.30	大磯小学校 (載田 沢司)	歴史学習の教材として使 用する	大磯小学校
土器	1 点	S 63.6.20 ～9.10	平塚市博物館 (今泉 義廣)	特別展「相模川流域の弥 生時代」に展示する	平塚市博物館
パネル 民俗資料他	75 点	S 63.5.5 ～6.30	大磯小学校 (載田 沢司)	歴史学習の教材として使 用する	大磯小学校
紙芝居 そろばん他	8 点	S 63.10.10 ～12.1	〃	〃	〃
世界地図 エコノミスト他	65 点	S 63.10.10 ～12.1	〃	〃	〃

■ 研修室利用一覧

年月日	利 用 目 的 (利 用 者)	年月日	利 用 目 的 (利 用 者)
'88		1.27	郷土資料館運営委員会 (資料館)
10.28	湘南地区行政センター会議 (大磯町)	2.1	町制100周年記念写真展打ち合せ(大磯町)
11.2	湘南地域首長会議 (大磯町)	.9	緑化技術者研修 (藤沢市)
.6	特別展記念講演会 (資料館)	"	町制100周年写真展打ち合せ (大磯町)
.9	湘南なぎさフランチ幹事会 (大磯町)	.10	幼稚園PTA家庭教育学級 (大磯町)
.10	湘南地区自治研究会職員研修会(大磯町)	.14	退職手当組合会議 (神奈川県)
.11	読書会 (藤沢市六会読書会)	.17	幼稚園PTA家庭教育学級 (大磯町)
.16	学習会 (摘み草の会)	.21	" (")
.29	社会教育委員会 (神奈川県)	.22	研修会 (神奈川県公園緑地行政連絡協議会)
.30	社会科学学習 (大磯小学校)	.23	おとなのための歴史教室 (大磯町)
12.1	" "	3.2	" (")
"	郷土資料の見学 (国府小学校)	.9	" (")
.22	湘南なぎさフランチ推進協議会 (大磯町)	.12	100周年記念入選者表彰式 (大磯町)
'89		.14	学習会 (摘み草の会)
1.19	湘南地区町村議会議長会研修 (大磯町)	.16	おとなのための歴史教室 (大磯町)
.20	農地課長会議 (神奈川県)	.26	歴史講演会 (資料館)
.24	石造物調査まとめ (神奈川県)	.29	郷土資料館運営委員会 (資料館)

■ 見学・視察一覧

年月日	見 学 ・ 視 察	人数	年月日	見 学 ・ 視 察	人数
'88			'89		
10.26	県下町村議会議長	25	1.19	湘南地区町村議会議長会	12
"	大和市文化財保護指導員	12	.26	東京都西多摩郡日出町議会議員	3
.27	静岡県社会教育主事協会	26	.31	愛川町福祉課ボランティアグループ	40
"	神奈川県平塚土木事務所	10	2.7	愛川町老人会	21
"	国府小学校	38	.8	埼玉県狭山市役所	10
11.4	大磯小学校	40	.14	大磯中学歴史クラブ	10
.6	歴史研究会 西湘支部	60	.15	茅ヶ崎市博物館準備委員会	13
.9	西小磯西老人会みのり会	50	"	東京都江東区役所管轄課	3
"	大磯リンドクラブ	80	.17	国府中学校	3
"	西小磯東婦人会	15	"	神奈川県県央地区行政センター	25
.10	国府小学校	280	.21	税務協議会	10
"	座間市北地区文化センター	30	.28	湘南地区三町出納係	10
"	長野県下諏訪町立図書館	7	3.7	北下町老人会	40
.15	大磯小学校	100	.10	東海大学	35
.17	福島県鏡石町議会議員	19	.14	鎌倉あけぼの会	40
.22	東町地域ボランティア	20	.15	横浜質市博物館	2
.24	南足柄市郷土資料館建設委員会	20	.17	大磯小学校	300
"	幼稚園社会部会	20	"	寒川町自治会	26
.25	行政制度調査特別委員会	16	.23	国府小学校	225
12.2	寒川町文化財保護委員	6	"	大磯小学校	350
"	愛川町納税貯蓄組合	16	"	真鶴公民館	8
.3	国府小学校	10	.29	日本NCR株式会社	100
.6	"	35			
.7	"	42			
.8	"	40			
.9	"	45			
.10	"	39			

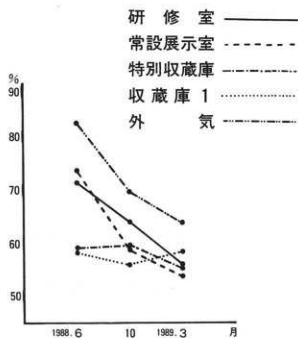
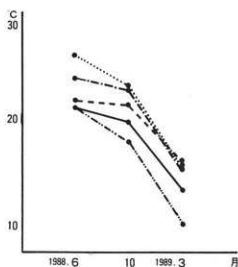
■ 博物館資料登録

資料種別	実 物		模型・模造・複製		図 書・文 献		写 真		フィルム・スライド		そ の 他	
分 類	種 類 名	点 数	種 類 名	点 数	種 類 名	点 数	種 類 名	点 数	種 類 名	点 数	種 類 名	点 数
考 古 資 料	土器(完形)	172	住 居	1			国 府	5	リバーサル	一括27		
	石 器	155	構 築 墓	1			〃		白 黒	一括24		
	土器片・石器片	219	国 府	1								
小 計 a		546		3				5		51		
歴 史 資 料	近世文書	335	本 陣	1			地図・絵図	3	白 黒	一括14		
	近代文書	1029					浮世絵	1				
	年代不明・断片一括	187					漫 画	1				
	地図・絵図・図面等	34										
	典籍・新聞等	148										
	絵画・書等	14										
	写 真	4										
小 計 b		1751		1				5		14		
民 俗 資 料	衣	102										
	食	219										
	住	90	城 山 荘	1					ス ラ イ ド	一括1		
	生産・生業	431	船	7			写真ハネル	9	ス ラ イ ド	一括2		
	交通・交易	79										
	社会・生活	69										
	信仰・年中行事	22	七夕竹神楽	1					ス ラ イ ド	一括8		
	民俗・知識	30										
	民俗・芸能	19					写真ハネル	15				
小 計 c		1061		9		調査報告書	1			開取りテープ	19	
合計(a+b+c)		3358		13		1		34		一括76		19

■ 備品一覧

品 名	数量	品 名	数量	品 名	数量
椅子	8	小型カメラレンズ(広角)	1	小型メガホン	3
スタッピング・チェア	66	〃 (ズーム)	1	小型録音カセット	1
トレース台用椅子	1	スピードライト	1	カセットレコーダ	1
作業台用椅子	12	自動カメラ	1	公用車	1
平机用椅子	2	中型カメラ	1	運搬車(台車)	1
ベンチ	2	オートメーター	1	〃	1
長椅子	1	ライトスタンド	4	テーブル台車	2
事務机	2	引伸機	1	スタッピング台車	4
館長用事務机	1	植層バック	1	テーブル台車	2
応接セット	1	アクリル板	1	レベル[(オート)三脚付]	1
閲覧机	1	変更パイプ	1	自記温度計	6
テーブル	18	ボールハンガー	4	大型冷蔵庫	1
作業台	2	背景紙巻取紙	1	小型冷蔵庫	1
演 台	1	背景紙	10	フリーザー	1
平 机	2	コピースタンド	1	テレビ(台付)	1
食器戸棚	1	フラットライト	1	提示板	1
ファイリングキャビネット	5	ボールフック	1	配送用トランク	1
ロッカー	2	ボールキャット	1	提示開閉白板	1
コインロッカー	2	カメラ用三脚	1	傘立て	2
ストレージユニット	2	双眼実体顕微鏡	1	クズ入れ	2
引違い書棚	3	ワードプロセッサ	1	スモーキングスタンド	2
マップケース(天板)	3	16ミリ映写機	1	サイン他	1
マップケース	6	ビデオデッキ(VHS)	1	消火器	8
マップケース(ベース)	3	〃	1	〃	5
重量棚	4	〃	1	消火器ボックス	5
軽量棚	2	音声ミキサー	1	コレクターライン	40
物品棚	2	カセットデッキ	1	公 印	2
測量機保管庫	1	メインスピーカー	2	案内板	1
AV収納棚	1	モニタースピーカー	2	月・行動予定表	1
収納棚	1	ビデオプロジェクター	1	サイドスタンド	1
マガジンラック	1	リモコン機	1	パテーションベース	2
植物標本戸棚	2	ビデオプロジェクター昇降機	1	〃	2
昆虫標本戸棚	2	スライド映写機	1	パテーションロープ	1
ガラスケース	2	ダイナミックマイクロホン	5	〃	1
クリスタルキャビネット	1	マイクロホンスタンド	5		
小型カメラ(ボディ)	2	ワイヤレスマイク	1		
小型カメラレンズ(標準)	1	ヒートシーラ	2		

■各部室の温湿度変化



■委託関係一覧

●各種保守委託

- ・総合清掃
有限会社フジビル企画サービス
- ・警備
株式会社全日警
- ・昇降機保守点検
ダイコー株式会社
- ・自家用電気工作物保守点検
小島電気管理事務所
- ・消防設備保守点検
相田防災株式会社
- ・煙蒸
関東港業株式会社

●資料整備委託

・レプリカ作成 株式会社京都科学	土器	12点
	武具	17点
	装身具	32点
	人骨	1式
・土器図化 株式会社パスコ	縄文式土器	8点
	弥生式土器	3点
	須恵器	10点
	土師器	10点
・動物剥製 （仰湘南剥製研究所）	大型哺乳類	1点
	中型哺乳類	2点
	小型哺乳類	2点
	大型爬虫類	1点
	中型鳥類	5点
	小型鳥類	2点
・貝化石整理 化石整理委員会	西小磯産出	40点

大磯町郷土資料館の設置、管理等に関する条例

(昭和62年12月26日)
(大磯町条例第28号)

〈趣 旨〉

第 1 条 この条例は、大磯町郷土資料館(以下「郷土資料館」という。)の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

〈設 置〉

第 2 条 博物館法(昭和26年 法律第285号)に基づき、郷土の考古、歴史、民俗、自然科学等に関する資料(以下「郷土資料」という。)の収集、保管、展示等を行うとともに、これらの郷土資料に関する調査研究と教育普及活動を行い、地方文化の発展に寄与するために郷土資料館を設置する。

〈名称及び位置〉

第 3 条 郷土資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
大磯町郷土資料館	大磯町西小磯460番地

〈職 員〉

第 4 条 郷土資料館に館長その他職員を置く。

〈入館制限等〉

第 5 条 大磯町教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、次のいずれかに該当する場合には、郷土資料館の入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 郷土資料館の施設及び附属設備並びに郷土資料等を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) その他教育委員会が入館を不適当と認めるとき。

〈観覧料〉

第 6 条 郷土資料館の観覧料は、次のとおりとする。

区 分	観 覧 料 (1人につき)
常 設 展	無 料
企 画 展	特に必要と認めるとき500円以内でその都度定める。

〈研修室の利用〉

第 7 条 研修室は、学校教育又は社会教育に関する活動のために利用することができる。

〈損害賠償〉

第 8 条 入館者が、郷土資料館の施設及び附属設備並びに郷土資料等を損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示により、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

〈運営委員会〉

第 9 条 郷土資料館の円滑な運営を図るため、大磯町郷土資料館運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

2 運営委員会の委員は、5 人以内で教育委員会が委嘱する。

3 委員の任期は 2 年とする。ただし再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じたときは、速やかに補欠の委員を補充しなければならない。

5 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

〈委 任〉

第 10 条 この条例に定めるもののほか、郷土資料館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、昭和63年4月1日から施行する。

大磯町郷土資料館の設置、管理等に関する条例施行規則

(昭和63年
教委規則第1号)

〈趣 旨〉

- 第 1 条** この規則は、大磯町郷土資料館の設置、管理等に関する条例（昭和62年大磯町条例第28号）第10条の規定に基づき、大磯町郷土資料館（以下「郷土資料館」という。）の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

〈事 業〉

- 第 2 条** 郷土資料館は、その目的を達成するため次の事業を行う。
- (1) 郷土の考古、歴史、民俗、自然科学等に関する資料（以下「郷土資料」という。）の収集、保管及び展示を行うこと。
 - (2) 郷土資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
 - (3) 郷土資料に関する説明、助言、指導等を行うこと。
 - (4) 郷土資料に関する案内書、解説書、調査研究報告書等を作成し、及び頒布すること。
 - (5) 郷土資料に関する講演会、研究会等を行うこと。
 - (6) その他、大磯町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認める事業。

〈組織及び事務分掌〉

- 第 3 条** 郷土資料館に次の係を置く。

庶務係

学芸係

- 2 前項に規定する係の事務分掌は、おおむね次のとおりとする。

庶務係

- (1) 郷土資料館の事業計画に関すること。
- (2) 郷土資料館施設の管理及び館内の秩序維持に関すること。
- (3) 公印の管理に関すること。
- (4) 文書の收受、発送及び整理保存に関すること。
- (5) 物品の調達及び処分に関すること。
- (6) 予算の経理に関すること。
- (7) 郷土資料館運営委員会に関すること。
- (8) 観覧料の徴収に関すること。
- (9) 研修室の利用に関すること。
- (10) その他館内の庶務に関すること。

学芸係

- (1) 郷土資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 郷土資料の専門的、又は技術的な調査研究に関すること。

- (3) 郷土資料の説明、助言、指導等に関する事。
- (4) 郷土資料の案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関する事。
- (5) 郷土資料の購入に関する事。
- (6) 講演会、研究会等に関する事。
- (7) 郷土資料の特別利用及び館外貸出しの承認等に関する事。
- (8) 郷土資料の寄贈及び寄託等に関する事。

〈休館日等〉

第 4 条 郷土資料館の休館日は次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (2) 毎週月曜日(当日が前号の休館日に当たるときは、火曜日)
- (3) 1月2日から同月4日まで、及び12月28日から同月31日まで
- (4) その他教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要に応じて臨時に郷土資料館を休館することができる。

。〈開館時間〉

第 5 条 郷土資料館の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を臨時に変更することができる。

〈観覧券の交付〉

第 6 条 観覧料を納付した者には、観覧券(第1号様式)を交付する。

〈研修室の利用〉

第 7 条 研修室を利用しようとする者は、研修室利用承認申請書(第2号様式)を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

〈入館者の遵守事項〉

第 8 条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 施設、設備、展示品等を汚損し、又は損傷しないこと。
- (2) 定められた場所以外で、火気を使用しないこと。
- (3) 許可を受けずに展示品等の模写又は撮影をしないこと。
- (4) 前各号に定めるもののほか、管理上必要な指示に反する行為をしないこと。

〈郷土資料の館外貸出し〉

第 9 条 郷土資料の館外貸出しは、学術調査研究のため以外は行わない。

ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

- 2 郷土資料の館外貸出しを受けようとする者は、教育委員会に郷土資料館外貸出承認申請書(第3号様式)を提出し、その承認を受けなければならない。
- 3 郷土資料の館外貸出期間は、20日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、その期間を延長することができる。
- 4 教育委員会は、必要があるときは貸出し期間中であっても郷土資料の返還を求めることができる。
- 5 郷土資料の館外貸出しを受けた者が、当該郷土資料を損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示により、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

〈郷土資料の特別利用〉

- 第 10 条** 郷土資料の模写、模造、撮影その他特別の利用をしようとする者は、郷土資料特別利用承認申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

〈郷土資料の寄贈及び寄託〉

- 第 11 条** 郷土資料館は、郷土資料の寄贈及び寄託を受けることができる。
- 2 郷土資料館に郷土資料を寄託をしようとする者は、郷土資料寄託申込書(第5号様式)を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。
 - 3 教育委員会は、前項の規定により郷土資料の寄託を承認したときは、郷土資料受託書(第6号様式)を交付するものとする。

〈寄託資料の管理〉

- 第 12 条** 寄託された郷土資料の管理については、郷土資料館所蔵の郷土資料に準ずるものとする。

〈免 責〉

- 第 13 条** 寄託された郷土資料が、盗難、火災その他不可抗力によって損傷し、又は滅失したときは、教育委員会は、損害賠償の責めを負わない。

〈運営委員会〉

- 第 14 条** 大磯町郷土資料館運営委員会(以下「運営委員会」という。)に委員長及び副委員長各1名を置き、委員の互選により選出する。
- 2 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。
 - 3 委員長は、運営委員会を代表し、会務を総理する。
 - 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

〈会 議〉

- 第 15 条** 運営委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。
- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
 - 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可決同数のときは委員長の決するところによる。

〈その他〉

- 第 16 条** この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

第1号様式(第6条関係)

No.	No.
観覧券 (原券)	観覧券
観覧料 円	観覧料 円
(1人)	(1人) (写真又は絵)
大磯町郷土資料館	大磯町郷土資料館

第2号様式(第7条関係)

研修室利用承認申請書

年 月 日

大磯町教育委員会 殿

申請者 住所

氏名

電話番号

印

次のとおり利用したいので承認願いたく申請します。

利用日時	年 月 日 - 時 - 時
利用目的	
利用人員	
利用責任者	住所 氏名 電話
同席の職員氏名	
決定区分	☐ 承認する ☐ 承認しない
☐ 利用条件	☐ 承認しない理由
交付	決裁 発行 完結 第 号

第3号様式(第9条関係)

郷土資料館外貸出承認申請書

年 月 日

大磯町教育委員会 殿

申請者 住所

氏名

電話番号

印

次のとおり郷土資料館の館外貸出しを承認願いたく申請します。

利用目的	
利用場所	
利用方法	
連絡方法	
貸出期間	年 月 日 - 年 月 日
種別	資料名
冊数	備考
貸出しを受けようとする郷土資料	
決定区分	☐ 承認する ☐ 承認しない
☐ 貸出しの条件	☐ 承認しない理由
交付	決裁 発行 完結 第 号

第4号様式(第10条関係)

郷土資料特別利用承認申請書

年 月 日

大磯町教育委員会 殿

申請者 住所

氏名

電話番号

印

次のとおり郷土資料の特別利用を承認願いたく申請します。

利用目的	☐ 複写 ☐ 制作する
利用場所	☐ 複製 ☐ 複製する
利用方法	☐ 複製 ☐ 複製する
利用期間	☐ 複製 ☐ 複製する
利用目的	☐ 複製 ☐ 複製する
利用場所	☐ 複製 ☐ 複製する
利用方法	☐ 複製 ☐ 複製する
利用期間	☐ 複製 ☐ 複製する
決定区分	☐ 承認する ☐ 承認しない
☐ 利用条件	☐ 承認しない理由
交付	決裁 発行 完結 第 号

第5号様式(第11条関係)

郷土資料寄託申込書

年 月 日

大磯町教育委員会 宛

寄託者 住所

氏名

電話番号

印

次のとおり寄託したいので申込みます。

寄託資料	資料名	規格	数量	備考
寄託期間	年 月 日～ 年 月 日			
寄託条件				

第6号様式(第11条関係)

郷土資料受託書

年 月 日

寄託者 住所

氏名

職

大磯町教育委員会

印

次のとおり郷土資料を受託いたしました。

受託資料	資料名	規格	数量	備考
受託期間	年 月 日～ 年 月 日			
受託条件				

Ⅲ 学芸・教育普及活動

■資料収集活動

№	年月日	名 称	数 量	受 入 先
1988 0401	'88.4.2	フイゴ	1	尾崎 登 大磯867
0402	4. 27	昆虫標本	11	茅ヶ崎北陵 高校生物部 茅ヶ崎市下寺尾515
0501	5. 6	ミソザル 他	5	内田 静男 高麗2-10-24
0502	5. 10	ハルアミ 他	12	阿部川益吉 大磯1675
0503	5. 10	菓子箱 他	4	吉川 忠男 大磯962
0504	5. 11	大磯町年表	1	中川 良之 平塚市桃浜町14
0602	6. 8	大皿・一升マス	2	吉川 忠男 大磯962
0603	6. 25	如庵関連資料	一括	仲野 武夫 国府本郷1263
0604	6. 25	吹切・真勝寺採集瓦		山田 一男 国府本郷1125
0701	7. 1	ノラパンテン 他	5	渡辺 美代 寺坂669
0702	7. 2	ソロバン	1	飯田 敏之 国府新宿366
0703	7. 4	船及び付属品模型	10	小見 幸正 国府本郷453
0704	7. 19	古文書 他	3	彦坂 喜八 国府本郷88
0705	7. 20	タコツボ	1	二槌木一郎 西小磯315
0801	8. 6	電気蓄音機 他	一括	五島八左衛門 東小磯382
0802	8. 9	オルガン	1	" "
0803	8. 9	縄をなう道具(ナコード)	1	加藤 進 大磯1500
0804	8. 17	菓子鉢 他	5	吉川 忠男 大磯962
0806	8. 30	絵はがき 他	一括	吉田 茂治 西小磯78
0905	9. 2	レコード(大磯節)	1	鈴木 昇 西小磯92
0906	9. 5	古文書(書簡)	2	吉田 茂治 西小磯78
0907	9. 2	顔(木彫)	1	菊池 栄摘 大磯374
0909	9. 9	泥面子(ドロメンコ)他	4	鈴木 昇 西小磯92
0910	9. 9	丸 石	1	池田彦三郎 二宮町二宮224
0912	9. 10	写 真	10	平田 寅吉 大磯1524
0913	9. 12	鳥類資料	2	大屋 親雄 鎌倉市植木590-6
0914	9. 13	神奈川県産トンボ類標本	16	佐藤 正幸 帯広市西13条南15-1-6
0915	9. 13	キイトンボ	1	佐藤 裕幸 茅ヶ崎市鶴ヶ台8-2-202
0918	9. 26	タンス 他	4	吉田 茂治 西小磯78
1002	10. 9	生物資料	2	大屋 親雄 鎌倉市植木590-6
1003	10. 9	アオバト	2	田端 裕 高麗2-21-1-143
1004	10. 9	スズメ幼鳥	1	笹川まゆみ 町田市南大谷1588-6
1101	11. 1	大磯小学校校章	1	平田 寅吉 大磯1524
1102	11. 6	島崎静子による「夜明け前」 朗読カセットテープ	1	伊東 一夫 武蔵野市桜堤公園78-3
1103	11. 13	書 籍	11	吉川 忠男 大磯962
1104	11. 15	竹トンボ 他玩具	9	大山高次郎 西小磯314

●寄贈資料

№	年月日	名 称	数 量	受 入 先
1988 1105	11. 18	お手玉	5	谷河 ひさ 西小磯307
1106	11. 19	写 真	38	平尾 武 国府本郷1332
1107	11. 22	島崎静子筆跡・書簡	1	伊東 一夫 武蔵野市桜提公園78
1108	11. 24	昆虫標本(鱗翅目・トンボ目)	21	小口 岳史 茅ヶ崎市浜見平団地4-10-206
1109	11. 24	昆虫標本	277	茅ヶ崎市立高校生物部 茅ヶ崎市下寺尾515
1110	11. 27	古 銭	27	古伊勢屋 大磯1033
1111	11. 30	お手玉 他	7	渡辺 美子 寺坂669
1201	12. 1	テヌグイ(手拭)	2	中村フサコ 大磯1121
1202	12. 1	ゴザミノ	1	古伊勢屋 大磯1033
1203	12. 2	写 真	1	安部 直幸 横浜市南区桂町2-211-303-1
1204	12. 6	南極の石	1	古瀬 恭良 高麗1-3
1205	12. 11	イカツノの鳥型	1	椎野 金造 大磯1184
1206	12. 14	仕事着(上・下)	1	中村フサコ 大磯1121
1207	12. 14	イタゴ 他	9	竹永 輝雄 大磯1355
1208	12. 16	確認書	1	鈴木 昇 西小磯92
1209	12. 21	コート(青年訓練所時代)	1	加藤 春雄 平塚市董平22-23
1210	12. 28	ヤンナゴッコ・セノカミの飯宮	1	和田 欣也 大磯1645
1211	12. 28	横地康国画「飛天」	1	横地 康國 東京都新宿区矢来町75
1212	12. 29	オカリヤ模型	1	和田 欣也 大磯1645
1213	12. 29	フナダマサン	2	小見 幸正 国府本郷453-1
1214	12. 29	鳥類資料	4	青木 雄司 千葉県習志野市
1215	12. 29	"	2	根岸 正夫 平塚市馬入本町7-9
1216	12. 29	ムクドリ	1	小林由美子 大磯町国府本郷1382
1217	12. 29	アカウミガメ	1	小島 正世 大磯町国府本郷881
1989 0101	'89.1.5	トンボ目標本	29	関野 樹 長野県松本市岡田松岡116-1
0103	1. 10	ネココタツ	1	春岡国枝子 平塚市山下255-3
0104	1. 11	イカツノ	1	椎野 金造 大磯1184
0105	1. 19	カモジ 他	12	杉山 直温 国府新宿463
0106	1. 22	ゲタ(アシダ)	1	鈴木 菊え 西小磯92
0107	1. 22	古文書 他	一括	大内 国三 西小磯730
0108	1. 25	火縄銃 他	7	徳坂 優 小田原市酒匂1-2-8山口荘2-5
0109	1. 27	ヒノシ	1	大久保幸造 東町1-5-1
0201	2. 3	ハンテン	1	鈴木 昇 西小磯92
0202	2. 7	ニナイオケ 他	一括	石井幸太郎 大磯1901
0203	2. 9	滑車 他	4	" "
0204	2. 10	泥面子	17	山口 民藏 国府本郷743

●寄贈資料

№	年月日	名 称	数 量	受 入 先
1989 0205	2. 10	番音機 他	一括	田口 フジ 東小磯575
0206	2. 14	古バカリ 他	5	大内 満 西小磯730
0207	2. 17	クルミ 他	6	青木 雄司 座間市相模丘5-47-18
0208	2. 28	稲荷講資料	一括	小島 庄蔵 国府本郷397 吉川林之助 国府本郷381
0209	2. 28	東海道五十三次復刻	1	藤谷 澄子 国府本郷360
0302	3. 1	貝類標本	一括	山下 眞一 藤沢市鵜沼森が谷2-8-2
0303	3. 14	カットの灰皿 他	2	麻生 和子 東京都渋谷区神山20-37
0304	3. 16	文久永寶	1	杉山 直温 国府新宿463
0305	3. 18	絵はがき	1組	岩本喜三郎 平塚市平塚5-5
0306	3. 20	掛軸	1	吉田 桜子 小金井市桜町1-2-20
0307	3. 20	額	1	吉田 正男 東京都世田谷区羽根本1-14-16
0308	3. 20	扇風機 他		山王幼稚園 大磯121
0309	3. 26	ヒケシツボ 他	3	真壁喜代蔵 大磯1752
0310	3. 30	イネコキセンバ 他	8	渡辺 広平 西小磯227
0311	3. 31	鼓	1	吉田 茂治 西小磯78

●寄託資料

№	年月日	名 称	数 量	受 入 先
1988 0601	'88.6.1	サーベル 他	7	土屋 幸雄 西小磯68
0901	9. 1	浪花講商人中定宿(控)	1	杉崎 武 寺坂389
0902	9. 1	高 札	3	坂井 保治 黒岩591
0903	9. 2	関所手形(天保7年)他	8	守屋松三郎 黒岩676
0904	9. 2	高 札	1	豊田 春勇 虫窪209
0908	9. 8	陶器(こゆるぎ焼)	4	鯛 茂 大磯483
0911	9. 10	書画等 他	一括	須藤寿美栄 横須賀市汐入町2-44
0916	9. 20	関所手形(安政7年3月)	1	柳田 繁男 西小磯123
0917	9. 21	御上格御用掛御役人附 他	7	西海 誠 大磯1690
0301	3. 1	掛 軸	1	高木とみ子 西小磯92
0302	3. 29	巡洋艦模型	1	小島 忠雄 国府本郷360

●移管資料

№	年月日	名 称	数 量	受 入 先
1988 0805	8. 27	投票箱	1	選挙管理委員会
1001	10. 6	古文書	一括	環境清掃課

●購入資料

№	年月日	名 称	数 量	購 入 先
1988 1211	12. 28	横地康國画「大磯」	1	横地 康國 東京都新宿区久米町75
1989 0102	1. 6	大磯海水浴場 富士遠景図	1	一心堂書店 横浜市西区中央2-24-3

■文献資料収集状況

●寄贈機関・団体のリスト一覧(1989. 2. 16日までににおける状況)

- ・神奈川県 神奈川県立博物館、神奈川県博物館協会、神奈川県自然保護協会、神奈川県横浜治水事務所、神奈川県立埋蔵文化財センター、神奈川県教育委員会、(財)神奈川県公園協会、神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川県立図書館、神奈川県立近代文学館、神奈川県町村会、(財)神奈川文学振興会、神奈川県県民部文化室、
- ・横浜市 横浜市教育委員会、横浜市図書館、横浜市八景郷土資料館、横浜市三殿台考古館、横浜市緑政局、相武考古学研究所、横浜市埋蔵文化財調査委員会、玉川文化財研究所、釜利谷やぐら遺跡調査団、東希望ヶ丘南遺跡調査団、丸井図書出版、(財)三溪園保勝会、相模民俗学会
- ・川崎市 川崎市教育委員会
- ・藤沢市 藤沢市教育委員会、藤沢市文書館、慶応義塾大学
- ・茅ヶ崎市 茅ヶ崎市役所、茅ヶ崎市文化資料館、茅ヶ崎市教育委員会、茅ヶ崎市委託市民学習グループ・文化財を学習する会、茅ヶ崎の博物館を考える会
- ・平塚市 平塚市教育委員会、平塚市博物館、湘南民報、野村證券㈱
- ・横須賀市 横須賀教育委員会
- ・相模原市 相模原市教育委員会、古淵A遺跡調査団
- ・座間市 座間市教育委員会、座間市立図書館、神奈川歴史研究会
- ・厚木市 中依知遺跡調査団、下依知大久根遺跡調査団
- ・海老名市 海老名市教育委員会、海老名市史編さん室
- ・大和市 大和市役所、大和市教育委員会、縄文文化研究会
- ・清川村 清川村役場
- ・藤野町 藤野町教育委員会
- ・伊勢原市 伊勢原市教育委員会
- ・秦野市 秦野市役所、秦野市教育委員会
- ・寒川町 寒川町史編さん室
- ・小田原市 小田原市教育委員会、小田原市郷土文化館、小田原城跡二の丸西遺構調査団、小田原市役所
- ・大井町 大井町教育委員会
- ・松田町 松田町教育委員会
- ・中井町 中井町教育委員会、中井町郷土資料館
- ・湯河原町 湯河原町役場
- ・東京都 大田区立郷土博物館、(財)三井文庫、福生市教育委員会、調布市武者小路実篤記念館、町田市立博物館、文京区教育委員会、文京区役所、本町田向上遺跡調査会、立川市歴史民俗資料館、(財)NHKサービスセンター、東京印書館史誌センター、(財)出光美術館、(財)中近東文化センター、(株)有隣堂、雄松堂出版、建築画報社、(株)ぎょうせい、(株)松屋、(株)新人物往來社、(株)出版社会、出版ダイジェスト社、名著出版、国立科学博物館、東京国立博物館、中央公論美術出版、国立国会図書館、文化庁

- ・茨城県 竜ヶ崎市役所
- ・栃木県 日本窯業史研究所、栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
- ・群馬県 群馬県立文書館、館林市立博物館
- ・埼玉県 埼玉県教育委員会、三芳町教育委員会、狭山市役所、狭山市教育委員会、智光山公園、こども動物園
- ・千葉県 市川市立市川歴史博物館、市川市立市川考古博物館、館山市立博物館、下総考古学研究所
- ・長野県 藤村記念館、(財)藤村記念館、小諸市教育委員会
- ・山梨県 韮崎市教育委員会
- ・静岡県 磐田市立郷土館、韮山町役場、藤枝市郷土博物館
- ・愛知県 豊橋市美術博物館
- ・岐阜県 オークヴィレッジ 通信編集室
- ・北海道 帯広市教育委員会、帯広百年記念館
- ・福島県 福島県立博物館
- ・滋賀県 草津市教育委員会、東海道五十三次シンポジウム実行委員会、滋賀県教育委員会
- ・奈良県 菅原遺跡調査会、奈良考古学研究所、奈良国立文化財研究所
- ・香川県 香川県埋蔵文化財センター
- ・徳島県 徳島文理大学比較文化研究所

■行事一覧

●特別展記念講演会

年 月 日	テ ー マ	内 容	講 師	参加者
昭和63年 11月6日	大磯時代の藤村先生と 静子夫人を偲んで	晩年の藤村夫妻を回想 した	東洋大学名誉教授 伊 東 一 夫氏	120名

●歴史講演会

年 月 日	テ ー マ	内 容	講 師	参加者
平成元年 3月26日	国府関係の神社について	総社と守公神を中心と する講演	国学院大学教授 木 下 良氏	40名

■刊行物一覧

昭和63年度に刊行した印刷物等をまとめた。

●図録等

開館記念特別展図録〈町屋園の日々〉1000部 1988,10

資料館建物概要 1000部 1988,12

●チラシ等

開館記念特別展チラシ 4000枚 1988,10

開館記念特別展ポスター 300枚 1988,10

映像展示ガイド 2000枚 1988,10

大磯再発見①チラシ 4000枚 1988,10

資料館利用案内 10000枚 1988,10/1988,12

解説プレート 器の名称 4000枚 1988,12

■昭和63年度特別展・企画展一覧表

●特別展

・テーマ 町屋園の日々～島崎藤村とその周辺～		
・期間 1988. 10. 26～11. 17	・分野 文学	・展示点数 約200点
・ねらい 町制施行 100周年を迎えた中での資料館開館にあたり、記念行事的な催事となるよう企画した。晩年を大磯で過ごした島崎藤村をとりあげ、近代文学の一端に触れながら大磯のもつ環境文化を探ることによって郷土資料を広義にとらえ、今後の館活動の可能性や方向性を示唆するものとした。		
・展 示 藤村の大磯における足跡とその資料を中心に紹介した。特に藤村が大磯の居と定めた町屋園や地福寺の墓所、大磯時代における周辺の人々を掘り下げた。藤村直筆の原稿や書、藤村・静子夫妻の日用品の数々など初めて公開されたものも多い。 なお、藤村が縁で締結された文学姉妹都市からも協力を得た。		

●企画展

・テーマ 大磯再発見 ①資料が語るもの		
・期間 1988. 12. 6～1989. 1. 29	・分野 総合	・展示点数 約250点
・設 定 資料から得る様々な情報との出会いの場を設定することにより、見学者に資料収集の重要性・楽しさを知ってもらおう。また、適宜、資料館の資料収集活動への参加・協力を呼び掛け、今後の館活動への関心をたかめる。		
・展 示 考古：大昔の暮らし——こんなところに遺跡が—— 民俗：庶民文化の傑作——ぼろ—— 歴史：古文書から知る大磯の人たちの旅 自然：丘陵と海の生物 情報コーナー：野外でひろった土器片、鳥の羽等解説プレート		

■執筆活動

昭和63年度に本館学芸員が館内外の刊行物に執筆した論文・報告等についてまとめた。
記載の形式は、執筆者名・発行年月日・『論文名』・収録雑誌あるいは収録書名とした。

●館の刊行物

佐川 和裕：1988.10『町屋園の日々～島崎藤村とその周辺』開館記念特別展図録

●館外の刊行物

鈴木 昇：1988.4～1989.3『大磯の今昔(四)』大磯町広報

鈴木 一男：1989.3『神奈川県大磯町大磯小学校遺跡出土の注口土器』

考古学雑誌 第74巻 第3号

槻 真史：1988.11『ねぐらを追う』自然保護 通巻第318号



外 観



玄関



エントラスホール



展示ホール

研修室



常設展示室



企画展示室





企画展示室

鉄筋工事



常設展示室及び廻廊

鉄筋工事



研修室

コンクリート打設工事

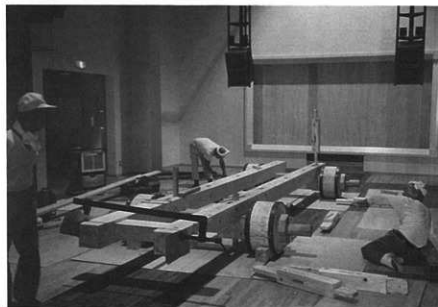
展示ホール
エッチング加工板取付



常設展示室
展示ボーダー取付



常設展示室
祭礼船山車組立



年 報

—昭和63年度—

●編集・発行

大磯町郷土資料館

神奈川県中郡大磯町西小磯460

TEL.0463-61-4700

●印刷

(株)カメイ写真